

間の文化①

(まず、黙読して、段落番号をつける)

◎ 対比構造を捉え、内容をまとめるよう。

△空間的な間▽...「**①十五字**」

対比

②(三字)の家

③(二字)の家

=

④(一字)が本来ない。

⑤(一字)で仕切り、鏝りかかる

障子、ふすま・几帳など
で仕切る。

扉で密閉



⑥(四字)が生まれた



☆日本の家からはこんな考え方が生まれたと考えられる？

(自分の考え) ↑(授業が確認します)

△時間的な間▽...「**⑦(六字)**」

日本古来の**⑧(二字)**

西洋の**⑨(七字)**

=

⑩(五字)がいたるところ

音によって**⑪(九字)**

にある。

(言葉の意味を調べて、書く)

- ・やおら (P22 413) ...
- ・おそるるに ...
- ・にわか ...
- ・とみい ...

間の文化②

◎本論をまとめ、筆者の考えを読み取る。

△心理的な間▽：「人や物事とのあいだに」とる

①(六字) ↓

日々の暮らしが②(二字)に ←

(例) 「遠慮」 ↓

○中国：「③(九字)」という意味

深謀遠慮：④意味を調べて書く。

参考

遠慮近慮(論語)

「遠き慮り無ければ必ず

近き慮り有る」

：遠い将来のことを考えること

近いうちに困ったことが起こる。

おまんぼう
おたんぼか
慮る

：よくよく考えろ
思ひめいらす
つな辞(死)

○日本：「⑤(十五字)」 ↓

⑥(五字)とされる

△本論のまとめ▽形式段落⑫⑬

日本人は

生活(⑦(二字)的)

芸術(⑧(二字)的)

人間関係(⑨(二字)的)

で間を使いこなしている。

間の使い方は「⑩(一字)」 ←

△日本文化は「⑪(四字)」というものがびびる

入リキミ(すいじん)
エ夫(フ)： Michiko Yashin

間の文化 ③

◎本論のまとめから結論を読み取ろう

「日本の文化」リ「間の文化」

△結論△形式段落⑭⑮

間はどのような役割を担っているか？

△「①(一字)」を実現させること

△「②(一字)」の誕生の舞台に「③(一字)」がある。

「③(一字)」が在ると「④(一字)」が成り立たない。

△解答△

間の文化① ①物と物とのあいだの何かない空間 (P20 23)

②日本 (P20 26) / ③西洋 (P20 28) / ④壁 (P20 27) / ⑤壁 (P20 27)

⑥個人主義 (P20 29) / ⑦何かない時間 (P21 28) / ⑧音曲 (P22 28)

⑨クラシック (P22 21) / ⑩音の絶え間 (P22 21) / ⑪うめつくされている (P22 23)

音楽

間の文化② ①心理的距離 (P22 20) / ②円滑 (P23 22)

③深く考えとめぐらす (P23 21) / ④自分が調べる(ネットでも可)

⑤相手のことを考えて行動を控える (P23 21) / ⑥遠慮は美德 (P23 24)

⑦空間 (②) ⑧段落 (①) ④時間 (②) ⑨段落 (①) ④心理 (①) ⑩段落 (①)

⑩淀 (P23 21) / ⑪間の文化 (P23 21)

間の文化③ ①和 (P24 23) / ②和 (P24 27) / ③間 (P24 28)

④間 / ⑤和